

一滴の血も流さず
台湾に自由をもたらした民主化の父

『李登輝元台湾総統と 日本精神』



李登輝（りとうき）さんとはどんな人??

- 1923年台湾、淡水郡（たんすいぐん）生まれ、2020年7月30日に亡くなる
- 1988年～2000年まで台湾の総統（そうとう）をつとめた、台湾の政治家。



それまで自由がなかった台湾を、
一滴の血も流さずに自由にした！！



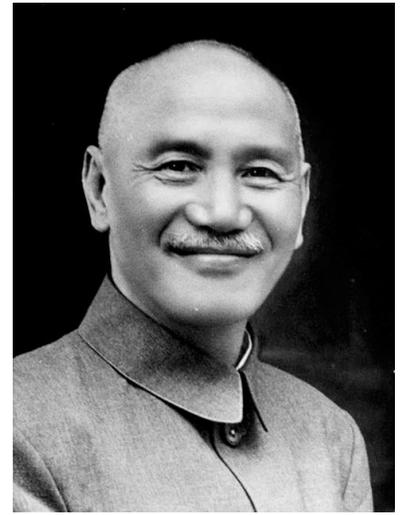
それまでの台湾は、どんなふうだったの？

- 1895年～1945年の50年間、日本が統治していました。
- 1945年から、中国から台湾に逃げ込んできた『中華民国』（国民党）が、台湾をおさめることに。



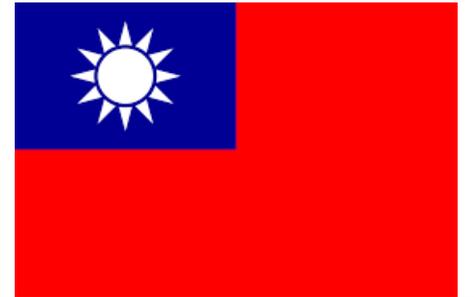


① 第二次世界大戦中



中華国民党のリーダー
『蒋介石（しょうかいせき）』

② 第二次世界大戦後



負ける(; ▽ ;)
↓
台湾へ逃げ込む！

中国共産党のリーダー
『毛沢東（もうたくとう）』



勝つ！
↓
中国全土を支配！

ちょっと話がそれますが . . .

1949年に中華人民共和国を建国した毛沢東。
6000~8000万人もの人々を殺害。



- ・ 政治の失敗で飢餓をおこす、個人の財産を奪い、国のものにする
- ・ 神さま、仏さまを信じる人を殺してしまう（自分が神様）
- ・ チベット、南モンゴル、ウイグルの人々から土地、財産を奪い、その民族の子供が生まれないようにしたり、歯向かう人はつかまえて拷問をしたり、殺したりしてきた

Stop China !

Freedom and Peace for Asia



それまでの台湾はどんなふうだったの？



国民党の統治のしかたは最悪だった . . . 。

- ・ 重要な仕事は中国からきた人（外省人）に占領される。
- ・ 台湾人（本省人）の意見は全く通らない。
- ・ 悪いことをする人間が沢山出てきて、
経済が一気に落ち込む。



それまでの台湾はどんなふうだったの？



- ・台湾人をおさえつけ続ける国民党に、**本省人の怒り爆発！！**



1947年に、**二・二八事件**が起こる。

二・二八事件とは・・・

- ・ 怒った市民に警官が発砲、
たくさんの死者が出る。
 - ・ 当時の国民党長官が本省人と話し合
いをしている間、大陸から援軍を呼ぶ。
 - ・ 国民党政府に逆らう人や、
かつて日本の教育を受けた
エリートたちを逮捕。
- 2万8000人**もの人たちが殺された。



それまでの台湾はどんなふうだったの？

【その後、38年間ものあいだ、
戒厳令（かいげんれい）が続く。】

- ・ 裏切者（政府を反対する者）は殺される
- ・ 言論、出版、集会、団体をつくることなどの自由を大きく制限
- ・ 世界史のなかで他に例を見ないほどの長さだった



その頃、李登輝さんは・・・

- 二・二八事件の当時、24歳。李登輝さんも『狙われる側』にいたが、幸い殺されることはなかった！（監視されることになる）
- 二度のアメリカ留学へ。農業経済学者としての道を歩む(29、42歳)
- キリスト教に入信（38歳）
- 台湾大学の教授になる（45歳）



その後の李登輝さんのあゆみ

- 当時の副首相、蔣経国（しょうけいこく）に声をかけられ、国民党に入り農業問題にとりくむ
(48歳頃)
- 1978年、台北市長になる(55歳)
- 1984年、総統になった蔣経国の指名で、副総統になる(61歳)
- 1987年、**38年続いた戒厳令が解除**される！！



李登輝さんには、ずっと『秘めた理想』があった。

それは、“台湾を真に自由にする事”

“ひとりひとりが大切にされる社会を
つくること”



1988年
蔣経国が突然亡くなり、
台湾総統になる！（64歳）



しかし . . . ! ! !

急に総統になってしまった李登輝さん(°Д°)!!

真面目に農業にとりくみ、
えらくなりたいという気持ちもなかった李登輝さん。

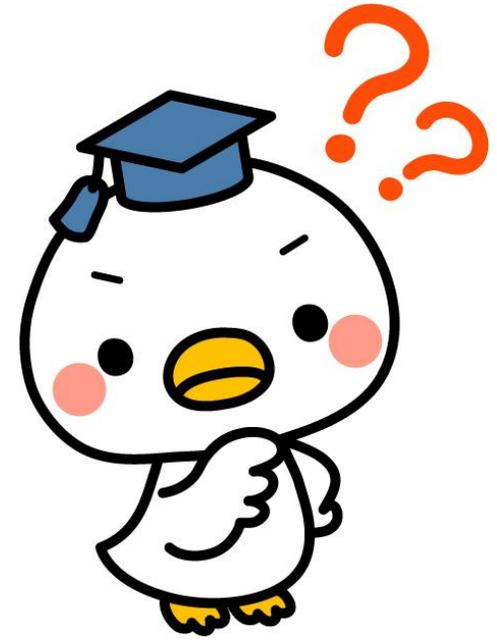
党内に頼れる人たちはいなかった . . . 。

軍も言うことを聞かない、情報をくれる機関の支持もない . . .

崖だらけの山のとっぺんに、
いきなり一人で立たされるような状況に . . . (;▽;)



ここで質問！！



そんなとき、李登輝さんの
一番の支えになったものは何でしょう??

正解は . . .



『神様を信じる心』

“恐れるな、わたしはいつもあなたと共にいる”

『台湾の人々を自由に、幸福にしたいという私の願いが
神様の願いでもあるのならば、
どんなに苦しくても、台湾の未来のために働こう』

『神様と一体となって、台湾を自由にする』

『私でない私』



その頃、台湾学生たちが、自由を求め抗議

- ・ 1990年、6000人の学生たちが、台湾の民主化（国民が選挙で政治家を選べるようになること）をもとめて座り込み、政府を猛反対した（野百合学連）

- ・ 『学生たちに危害をくわえてはならない』

➡ 学生たちの意見をきくことを約束する



中国で起きた『天安門事件』との違い

- 1989年に中国で起きた、民主化を求める学生運動
- 当時中国の発表では、死者が200名程と伝えるがイギリスの調べでは1万人ともいわれる
- 中国ではネットでこの事件を調べることが出来ず、若い人たちはこの事件のことを知らない



民主化に向けての李登輝さんの苦悩 . . .



- 李登輝さんの総統でいられる期間が、あと少しになったころ。まだ憲法の決まりで、**国民党の偉い人たちしか、つぎの総統を選ぶことが出来なかった。**
- 台湾を本当に自由の国にするには、**直接、国民が選挙で国のリーダーを決められるようにしなければいけない。**
- 残っていた国民党のトップにいた600人にやめてもらわなければ台湾は自由にならない . . .



そこで李登輝さんがとった行動は・・・
(ここがすごい！！)

600人の国民党の議員たちをたずねて、
『国のためにリタイアしてください』と
お願いしてまわった！！！！

どんなに批判されても、『私でない私』で、
国のためにあきらめなかった！！



・その後、600人の理解を得て、
国民が直接選挙で総統を選ぶことが認められた！

『静かな革命』



・1996年、台湾初の総統直接選挙で見事当選！！

【投票率】

李登輝 (りとうき)	【国民党】	54%
彭明敏 (ほうめいびん)	【民進党】	21%
林洋港 (りんようこう)	【無所属】	15%



『台湾はおれのものだ！！！！』と
ミサイルで脅してくる中国にも負けなかった！！！！



今も受け継がれる李登輝さんの精神

『台湾は中国のものじゃない！
私たちの国だ！』

- 香港の自由が中国にうばわれるのを見て、台湾の多く人はそう言った。そのみんなの思いが、2020年の総統選挙に大きく表れた。

(蔡英文さん（民進党）が57%で圧勝した)



李登輝さんは、台湾の人々の自由を守るために、
台湾の人々が豊かで幸せな暮らしができるように、
中国のおどしにも負けず、勇かんに政治をおこなってきた。

そして、
そんな李登輝さんを育んだのは・・・？

なんと、私たちの国、『日本』でした！！(°Д°)

- 『私は22歳まで日本人だった』
- 李登輝さんは、生まれてから22歳まで日本の教育を受けて育ち、第二次世界大戦にも日本人として参戦
- 『かつての日本人はとても立派だった』ということをずっと日本人に教え続けてくれていた

それまでの台湾は、どんなふうだったの？

- 1895年～1945年の50年間、
日本が統治していました。



- 1945年から、中国から台湾に逃げ込んできた『中華民国』（国民党）が、台湾をおさめることに。

私たちのご先祖様が台湾にしたこと

- ①学校をつくり、台湾人にも勉強を教えた！
(植民地ではありえないこと)



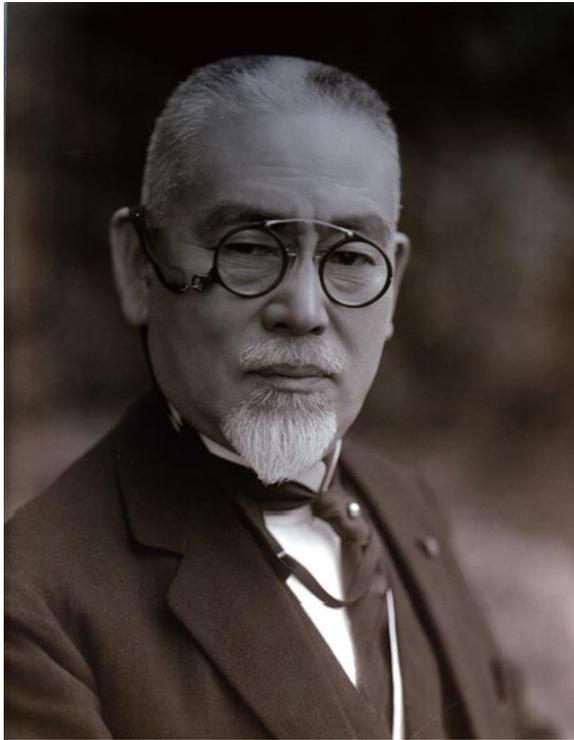
(↑六氏先生)

- ②たくさんのお金を使って、
日本よりも先に上下水道を整備して伝染病をなくした！

- ③たくさんの方がやめられなかったアヘン（麻薬）を
吸う人を、なくすことに成功した！

- ④台湾を豊かにするために生活に必要な
あらゆるものをつくった。

➡日本人に反発していた人々も、反発をやめ、
やがてともに働くようになった(;▽;)



(↑後藤新平)

後藤新平さんと
台湾の先住民族たち ➡



上／台湾先住民と肩を組む新平。日清戦争後に割譲された台湾をいかに治めるか……。『生物学の原則』で異民族の民心安定を図る。
下／「阿里山」の森林開発踏査中の後藤長官（前列中央左）一行と神木。やがて標高二～四千m近い台湾中央山塊に森林鉄道が通る。

志がない人を日本に追い返し、
とても優秀な人ばかりを台湾に
まねいた！！ ➡



⑤東洋一のダムをつくって、
作物がたくさんとれるようにした(°Д°)



←八田與市
(はったよいち) さん



⑥台湾軍のリーダーを務めた第7代目の台湾総督、
← 明石元二郎 (あかしもとじろう)

『自分が死んだら、遺体はこのまま台湾にうめなさい。
志の途中でこの世を去ることは、本当に悔しい。
私はたとえ自分が死んだ後も、台湾を守る鬼となり、
永遠に台湾の人々を守り続ける』

⑦ 『自分たちも日本人として、国を守るために戦いたい！！』
と言った、高砂義勇隊（たかさごぎゆうたい）



・ 1942年、日本が敵に押されて苦しかったとき、
はじめて台湾の人にも共に戦ってくれる人を募集した

→ **たくさんの台湾人の申し出があった！！**

【陸軍】

- ・ 第1回の募集 1000名の定員に対し、
約42万5千人の応募！！
- ・ 第2回の募集 1000名の定員に対し、約60万人が応募！！

【海軍】

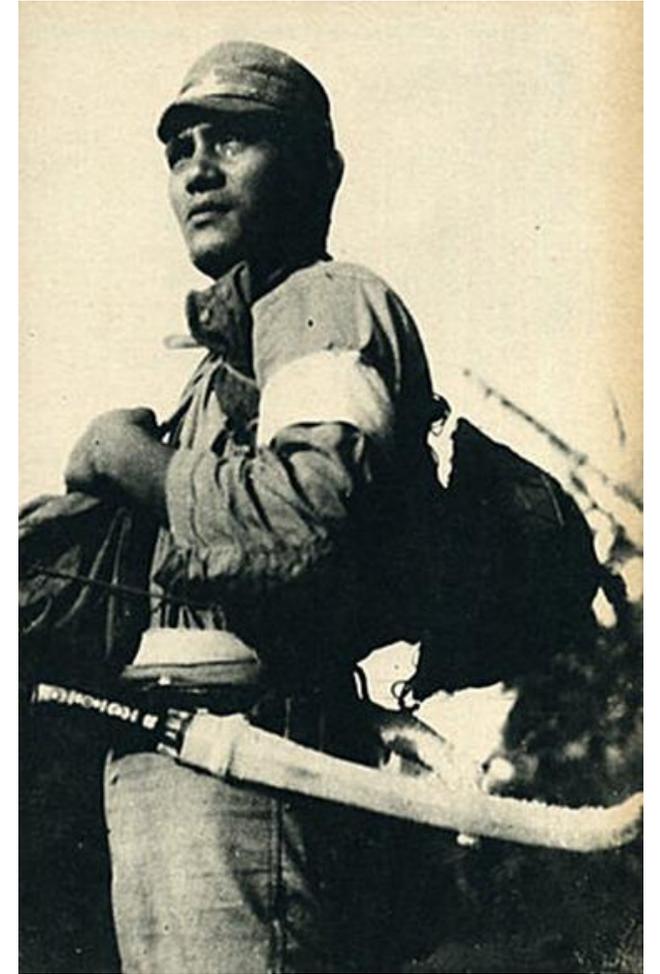
3000名の定員に対し、約31万人が応募！！



『日本精神』をもっていた高砂義勇隊

- ・ 身体能力がとてすぐれていて、素直で勇敢で、日本人からもとても信頼・感謝されていた
- ・ ジャングルの中で、仲間のために重たい食料をはこび、餓死（がし）する遺体がみつかると
- ・ 『自分よりも、仲間たちのために』
そんな高砂義勇隊のひとたちの心には、
かつての日本人が持っていた『日本精神』が宿っていた

素直（すなお）、反省（はんせい）、謙虚（けんきょ）、
奉仕（ほうし）、感謝（かんしゃ）、誠実（せいじつ）



中国の国民党が来て、反日教育をされたあとでも、台湾の人たちは『日本人がしてくれたこと』を、ずっと忘れなかった。



東日本大震災の時、200億円も寄付してくれた！！(;▽;)



しかし(;▽;) 台湾を『二度すてた』日本

1回目 ・ ・ ・ 1945年、戦争に負けて台湾を去る

(1952年、友人関係を結ぶ)

2回目 ・ ・ ・ 1972年、中国と友人関係（国交）を結ぶために、台湾との友人関係をすてた。

(中国とのお金儲けを優先。

『台湾はおれのもの』という中国の思いに理解を示した。)

そして、現在。
香港、台湾、日本の侵略をたくらむ中国。

自由を奪われた香港。
台湾の目の前に近づく危機。

そんな真ただ中で、李登輝さんは
2020年7月30日に亡くなります。



『自由と民主主義を愛する台湾と日本が
真の仲間として協力することが、
東アジアの平和と自由、安定を守ることになる。』

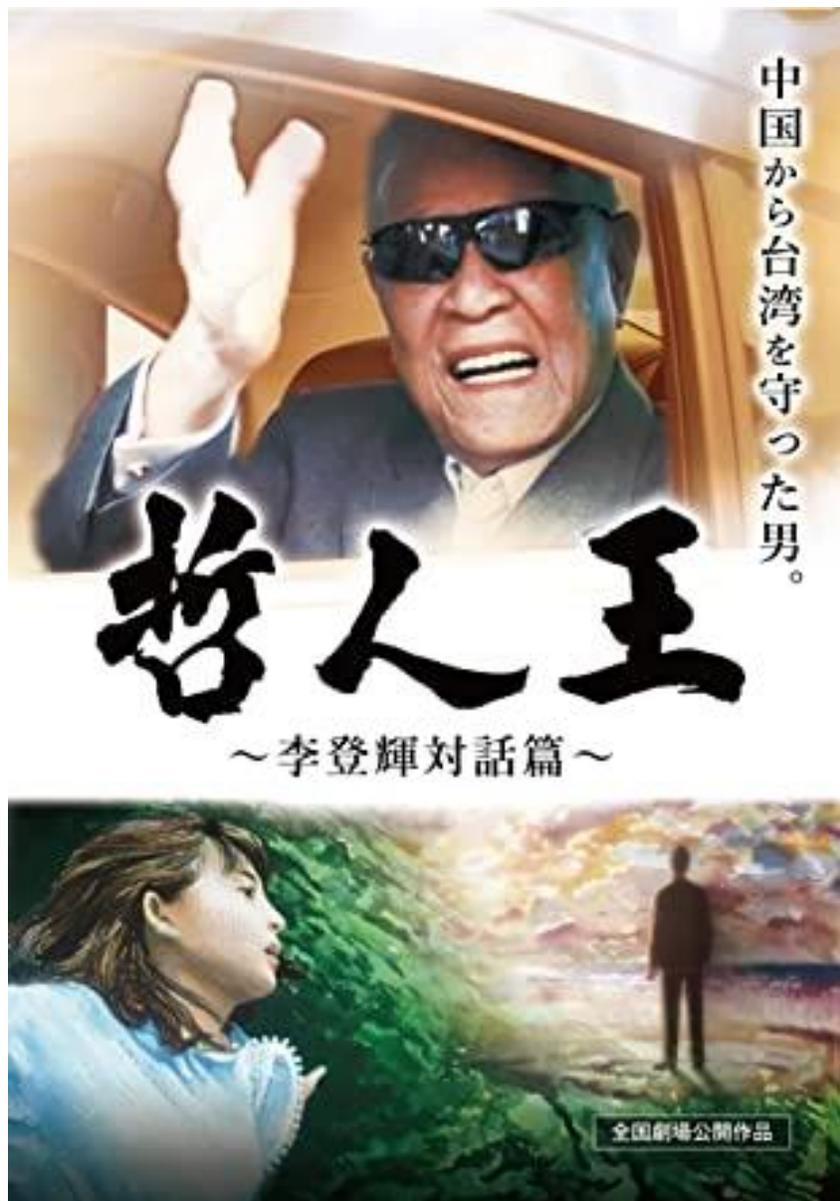
『日本がいてくれたから、今の台湾がある。
日本は、今も台湾が見習うべき兄なのである。』



日本人よ、自信と誇りをもちなさい。
あなたたちこそ、アジアの中でリーダーとなれる、唯一の国なのです』

一滴の血も流さず台湾に自由をもたらした民主化の父
『李登輝元台湾総統と日本精神』 まとめ☆

- ①李登輝さんは、自由がなかった台湾に**超平和的な方法**で自由をもたらし、自分の国のリーダーや国づくりの方針を、自分たちで選べるようにした！
- ②『**私でない私**』で偉業を成し遂げることが出来た！
- ③そんな李登輝さんを育んだのは、日本統治時代の日本だった!!
その**私たちのご先祖様**は、今学校ではきちんと教えてもらえないけど、**本当はとても立派だった！！**
- ④中国からの侵略の危機が高まる今こそ、**日本は深い絆の歴史をもち、自由を愛する台湾と手を取り、アジアの平和を守るべき時！**(`・ω・´)



映画『哲人王』
Amazonにて
DVD絶賛発売中！！☆

さいごに・・・

『自由はあたりまえではない』ということをおすれてはならない。

世界はまだ弱肉強食で、他人の領土、財産を狙っている者がいる。

努力なしで自由を勝ち取り続けることはできない。

しかし、これから国を背負っていくたくさんの人たちが
政治（国づくり）に関心を持ち、

国を愛する気持ち、国の発展を心から願う気持ち、
世界の自由を愛する気持ちを持つことができれば、
必ずこの国は、今までの歴史上類を見ない繁栄を実現することができる。